

～患者様へのお知らせ～

当院では、より適切で皆様の生活の充実に役立つ医療を行うように、新しい技術/医療知識の研鑽に努力しております。

今回、精神科では、「アルコール依存症に伴うウェルニッケ脳症の入院治療転帰の検討」の研究を行っています。平成31年1月から令和4年12月までの期間、当院で入院治療を受けられた患者様を対象に、診療録（カルテ）を用いての調査活動を実施します。

調査の目的は、アルコール依存症治療の方法に関して様々な方法を整理するものです。この調査によって、多くの患者様に、より適切で有益な治療方法の提案が可能になるものと考えています。

対象の患者様は、「アルコール依存症」「ウェルニッケ脳症」で治療を受けた方の一部です。

調査には、個人情報保護に十分配慮し、名前・住所等の個人情報は一切含まず、断酒率や外来継続率等の治療経過のみが記載され、どなたの情報かは全くわからないようになっていきますので、患者様に一切のご負担や不利益は生じません。

しかし、患者様によっては、気になさる方もいらっしゃると思いますので、カルテ調査を望まない方は、遠慮なく、担当医に申し出てください。

なお、上記、申し出をされたことにより、治療上の支障が出ることも一切ありませんので、ご安心して、治療をお続けいただけますよう、お願い申し上げます。

令和6年 3月

袖ヶ浦さつき台病院 院長 菊池周一